

広州、中国、2011年3月26日

人民解放軍の広州総合病院は、中国で最初の軍事部門と民間部門とが連携した、胸痛診断ネットワークシステムを稼働させた。

このシステムは IVT 社の mHealth 技術と携帯電話網を使用し、軍事と民間が連携し胸痛診断レスキューネットワークを構成する。胸痛診断レスキューセンターとリモート心電計 (ECG) を人民解放軍の広州総合病院、広州民間救急センターによって実施し、診断センター、広州とその周辺のいくつかの地域の民間病院や地域保健サービスセンターをネットワークし、これを徐々珠江デルタへの適用範囲を拡大します。

胸痛診断レスキューネットワークのシステムは IVT の mHealth 技術を使用することによって実現されました。各病院のバイタルサインは、すべてのワイヤレス医療タブレット PC に接続して心電図モニターを、アームベースの血圧計、パルスオキシメータ、グルコース計、リード 12 によって収集され、リアルタイムでの 3G ネットワークを介して送信上のライン胸の痛みレスキューネットワーク内で情報が供されている。これらの医療機器は小型で、軍と民間の使用の任意の救助現場で使用することができます。

胸痛診断レスキューセンターの専門家は、IVT の mHealth システムを使ってリモート救助現場のスタッフにリアルタイムでサポートする。また、ワンクリックでの総合病院などの内のすべての関係者にショートメッセージを送信する。放射線部門、超音波室、臨床検査、心臓の薬、心臓手術、救急外来に患者さんの到着前に操作を準備する。

http://www.24x7mag.com/press_release.asp?id=10247617

<http://newswire.ca/en/releases/archive/March2011/26/c6830.html>

<http://www.heraldonline.com/2011/03/26/2940515/chinese-army-established-the-first.html>